

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	中国横断自動車道 尾道松江線（尾道～三次）
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B/C）=1.1 経済的純現在価値（B-C）=228億円、経済的内部収益率（EIRR）=4.6% 残事業：費用便益比（B/C）=4.9 経済的純現在価値（B-C）=1,066億円、経済的内部収益率（EIRR）=28.1%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について： 渋滞損失削減時間：約98万人・時間/年（8,958万人・時間/年⇒8,860万人・時間/年） 区間b（当該区間／並行区間）について：（該当区間名）一般国道184号現道部 並行区間（当該区間）の渋滞損失削減時間：約78.8万人・時間/年 並行区間（当該区間）の渋滞損失削減率：73.5%削減（107.3万人・時間/年⇒28.4万人・時間/年）
		□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	福山～松江（2便/日）
		■ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅：新尾道駅、対象自治体名：三次市、改善見込み：（三次市役所～新尾道駅、85分⇒65分）
	物流効率化の支援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象空港：広島空港、対象自治体名：三次市、改善見込み：（三次市役所～広島空港、85分⇒67分）
		■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	対象港湾：福山港、対象自治体名：三次市、改善見込み（119分⇒91分） 農林水産業を主体とする地域名：世羅郡世羅町（アスパラガス）、主な出荷先等 広島市、大阪市
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 三大都市圏の環状道路を形成する	
□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	対象となる拠点都市間：尾道市～三次市
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	対象となる日常活動圏中心都市間：福山市～三次市
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：世羅郡世羅町 日常活動圏中心都市：福山市、改善見込み（70分⇒58分）
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	国営備北丘陵公園（H23年間観光客入り込み数44.2万人/年）、せら夢公園（せらファイナリー）（H23年間観光客入り込み数40.6万人/年）、千光寺（H23年間観光客入り込み数38.4万人/年）等
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設名称：福山市民病院、アクセス向上が見込まれる自治体名：世羅郡世羅町（47分→36分）
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	広島県の緊急輸送道路（整備後に緊急輸送道路に指定候補となる道路）に指定
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：一般国道184号、代替する区間（三次市～尾道市）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		<input type="checkbox"/> 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：約15千t/年（整備なし：6,348千t/年⇒整備あり：6,333千t/年）
生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間：便益算定範囲 排出削減量：約31t/年（整備なし：18,515t/年⇒整備あり：18,484t/年）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間：便益算定範囲 排出削減量：約4t/年（整備なし：908t/年⇒整備あり：904t/年）	
	<input type="checkbox"/> 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある		
	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される		
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	ひろしま未来チャレンジビジョン（H22.10）
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	中国横断道尾道松江線（三次～松江）との一体整備による島根県東部地域と山陽地域との連携強化

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
中国横断自動車道	尾道松江線 (尾道～三次)	L= 49.9 km	高規格 (新直轄)	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
5,800～13,800	2	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	1,426億円	380億円	1,806億円
うち残事業分	186億円	240億円	426億円
基準年における 現在価値 (C)	1,614億円	151億円	1,765億円
うち残事業分	176億円	96億円	272億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成27年度			
単年便益 (初年便益)	73億円	17億円	9.1億円	99億円
基準年における 現在価値 (B)	1,473億円	348億円	173億円	1,993億円
うち残事業分	975億円	239億円	124億円	1,338億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	228億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.6%
費用便益比（残事業）	4.9
経済的純現在価値（残事業）	1,066億円
経済的内部収益率（残事業）	28.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	5,800~13,800	±10%	1.0~1.3
事業費	1,426億円	±10%	1.1~1.1
事業期間	12年	±20%	1.1~1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	5,800~13,800	±10%	4.1~5.5
事業費	186億円	±10%	4.6~5.3
事業期間	2年	±20%	4.8~5.0

交通状況の変化

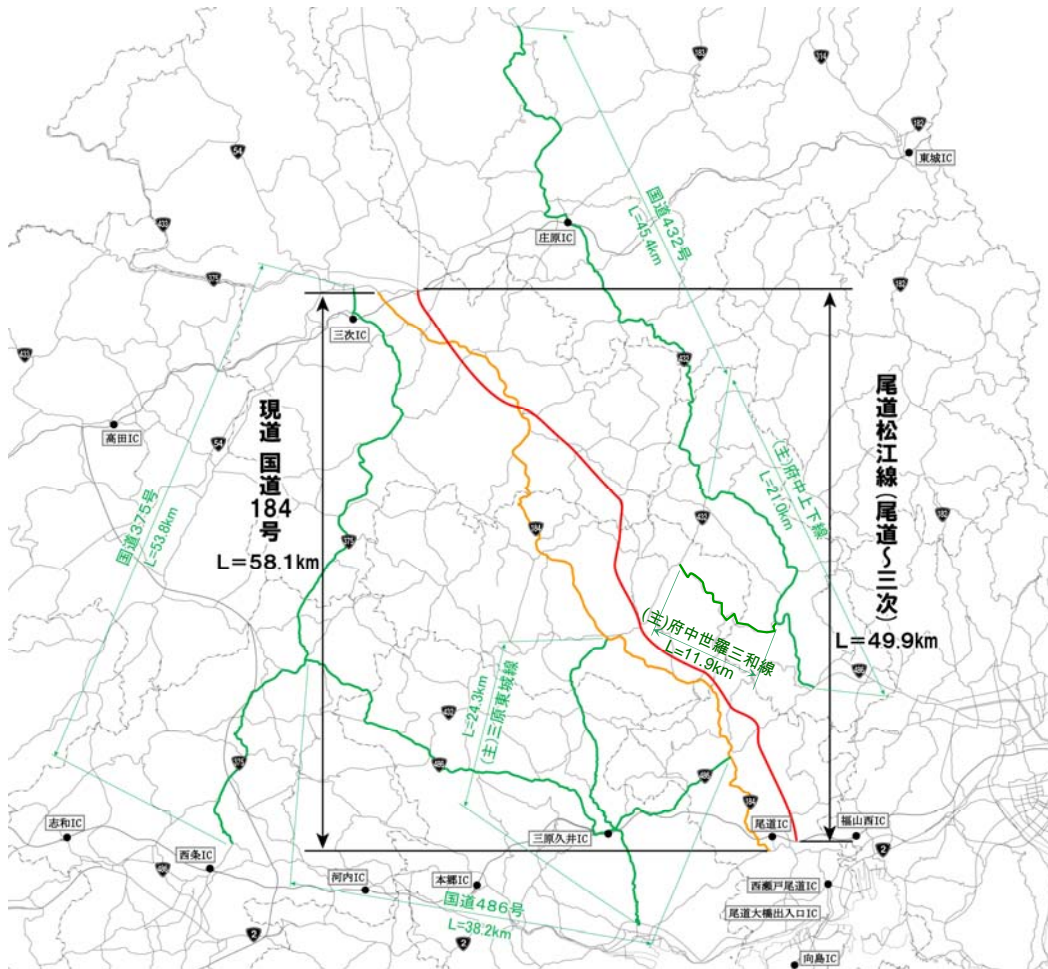
様式-3①

事業名：尾道松江線（尾道～三次）（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 49.9km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	11,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	43	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	92.10	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道184号 : 58.1km	交通量	[台/日]	10,900	4,300
		走行時間	[分]	83	79
		走行時間費用	[億円/年]	171.03	59.99
	国道432号,府中上下線 : 66.4km	交通量	[台/日]	4,000	2,900
		走行時間	[分]	94	94
		走行時間費用	[億円/年]	69.05	49.86
	国道486号 : 38.2km	交通量	[台/日]	4,400	3,600
		走行時間	[分]	51	51
		走行時間費用	[億円/年]	43.50	34.97
	国道375号 : 53.8km	交通量	[台/日]	6,800	6,300
		走行時間	[分]	80	80
		走行時間費用	[億円/年]	103.28	95.63
	三原東城線、府中世羅三和線 : 36.2km	交通量	[台/日]	4,000	3,000
		走行時間	[分]	52	51
		走行時間費用	[億円/年]	38.87	29.01
③その他道路合計 : 5346.4km	走行時間費用	[億円/年]	11,172.30	11,159.15	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 5648.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,598.03	11,520.71	77.32

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

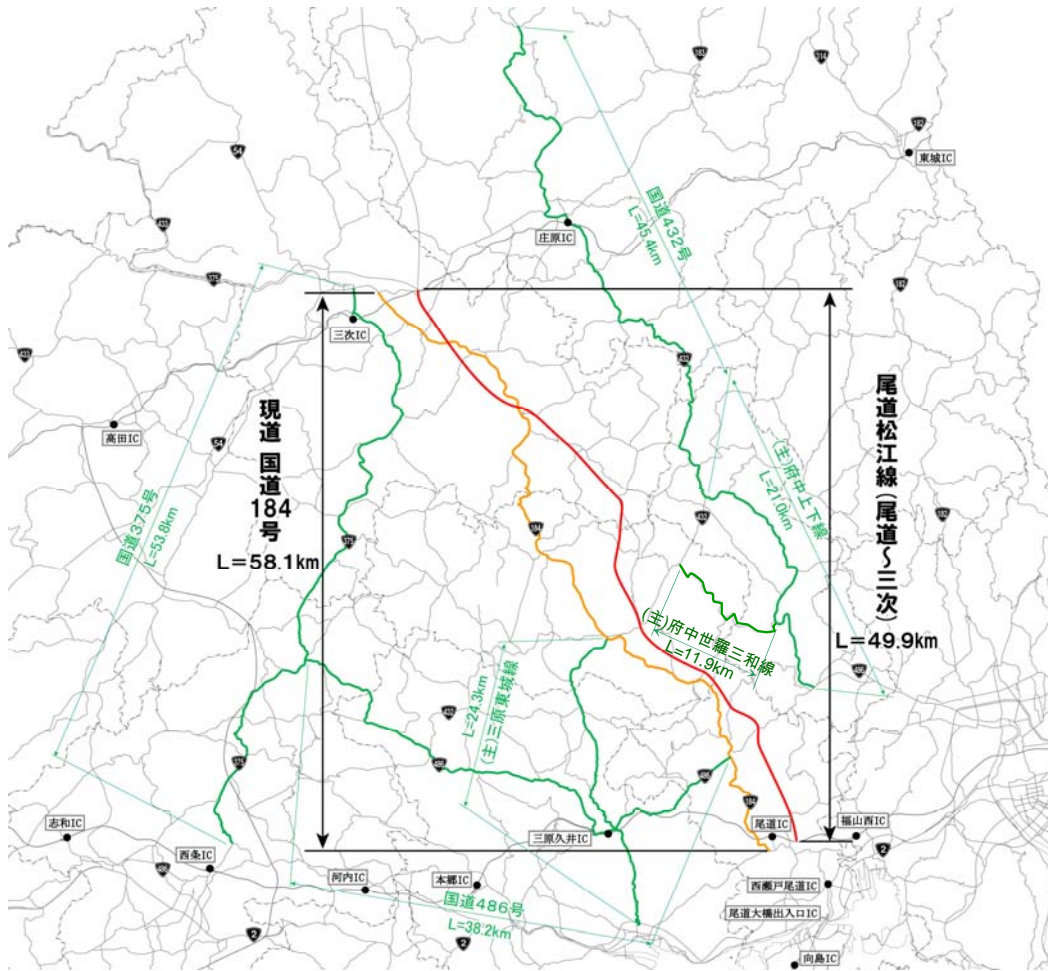
様式-3①

事業名：尾道松江線（尾道～三次）（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 49.9km	交通量 ^{※1}	[台/日]	9,000	11,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	16	43	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	29.25	92.10	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道184号 : 58.1km	交通量	[台/日]	8,900	4,300
		走行時間	[分]	81	79
		走行時間費用	[億円/年]	137.03	59.99
	国道432号,府中上下線 : 66.4km	交通量	[台/日]	3,700	2,900
		走行時間	[分]	94	94
		走行時間費用	[億円/年]	63.86	49.86
	国道486号 : 38.2km	交通量	[台/日]	3,800	3,600
		走行時間	[分]	51	51
		走行時間費用	[億円/年]	36.54	34.97
	国道375号 : 53.8km	交通量	[台/日]	6,800	6,300
		走行時間	[分]	80	80
		走行時間費用	[億円/年]	102.85	95.63
	三原東城線、府中世羅三和線 : 36.2km	交通量	[台/日]	3,000	3,000
		走行時間	[分]	51	51
		走行時間費用	[億円/年]	29.95	29.01
③その他道路合計 : 5346.4km	走行時間費用	[億円/年]	11,172.43	11,159.15	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 5648.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,571.91	11,520.71	51.20

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：尾道松江線（尾道～三次）

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他 ()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量 (トリップ数) 考慮した理由を記載	() 台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分 (リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由 小規模事業である	<input type="checkbox"/>
	山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他 () 簡易手法の考え方 (将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他 (最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数	() 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()		<input type="checkbox"/>	
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用		<input type="checkbox"/>	
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用		<input type="checkbox"/>	
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮		<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・ 走行経費減少・ 交通事故減少 以外の便益	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する		<input type="checkbox"/>	
その他				

費用の現在価値算定表

箇所名: 尾道松江線(尾道～三次)(事業全体)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.16	49.9	7.98	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-12年目	H 15	1.4233	102.3	176.06	229.77		
-11年目	H 16	1.3686	101.0	173.85	220.96		
-10年目	H 17	1.3159	99.6	102.80	127.40		
-9年目	H 18	1.2653	98.7	154.49	185.77		
-8年目	H 19	1.2167	97.6	183.15	214.15		
-7年目	H 20	1.1699	96.8	110.41	125.16		
-6年目	H 21	1.1249	95.6	118.16	130.41		
-5年目	H 22	1.0816	93.8	77.16	83.46		
-4年目	H 23	1.0400	93.8	43.88	45.64		
-3年目	H 24	1.0000	93.8	100.01	100.01		
-2年目	H 25	0.9615	93.8	127.90	122.98		
-1年目	H 26	0.9246	93.8	52.99	48.99		
供用開始年次	H 27	0.8890	93.8	5.10	4.54	7.60	6.76
1年目	H 28	0.8548	93.8			7.60	6.50
2年目	H 29	0.8219	93.8			7.60	6.25
3年目	H 30	0.7903	93.8			7.60	6.01
4年目	H 31	0.7599	93.8			7.60	5.78
5年目	H 32	0.7307	93.8			7.60	5.55
6年目	H 33	0.7026	93.8			7.60	5.34
7年目	H 34	0.6756	93.8			7.60	5.13
8年目	H 35	0.6496	93.8			7.60	4.94
9年目	H 36	0.6246	93.8			7.60	4.75
10年目	H 37	0.6006	93.8			7.60	4.56
11年目	H 38	0.5775	93.8			7.60	4.39
12年目	H 39	0.5553	93.8			7.60	4.22
13年目	H 40	0.5339	93.8			7.60	4.06
14年目	H 41	0.5134	93.8			7.60	3.90
15年目	H 42	0.4936	93.8			7.60	3.75
16年目	H 43	0.4746	93.8			7.60	3.61
17年目	H 44	0.4564	93.8			7.60	3.47
18年目	H 45	0.4388	93.8			7.60	3.34
19年目	H 46	0.4220	93.8			7.60	3.21
20年目	H 47	0.4057	93.8			7.60	3.08
21年目	H 48	0.3901	93.8			7.60	2.96
22年目	H 49	0.3751	93.8			7.60	2.85
23年目	H 50	0.3607	93.8			7.60	2.74
24年目	H 51	0.3468	93.8			7.60	2.64
25年目	H 52	0.3335	93.8			7.60	2.53
26年目	H 53	0.3207	93.8			7.60	2.44
27年目	H 54	0.3083	93.8			7.60	2.34
28年目	H 55	0.2965	93.8			7.60	2.25
29年目	H 56	0.2851	93.8			7.60	2.17
30年目	H 57	0.2741	93.8			7.60	2.08
31年目	H 58	0.2636	93.8			7.60	2.00
32年目	H 59	0.2534	93.8			7.60	1.93
33年目	H 60	0.2437	93.8			7.60	1.85
34年目	H 61	0.2343	93.8			7.60	1.78
35年目	H 62	0.2253	93.8			7.60	1.71
36年目	H 63	0.2166	93.8			7.60	1.65
37年目	H 64	0.2083	93.8			7.60	1.58
38年目	H 65	0.2003	93.8			7.60	1.52
39年目	H 66	0.1926	93.8			7.60	1.46
40年目	H 67	0.1852	93.8			7.60	1.41
41年目	H 68	0.1780	93.8			7.60	1.35
42年目	H 69	0.1712	93.8			7.60	1.30
43年目	H 70	0.1646	93.8			7.60	1.25
44年目	H 71	0.1583	93.8			7.60	1.20
45年目	H 72	0.1522	93.8			7.60	1.16
46年目	H 73	0.1463	93.8			7.60	1.11
47年目	H 74	0.1407	93.8			7.60	1.07
48年目	H 75	0.1353	93.8			7.60	1.03
49年目	H 76	0.1301	93.8	-194.68	-25.33	7.60	0.99
合計				1231.29	1613.91	380.00	150.95

単純事業費計		1425.96	380.00
--------	--	---------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:尾道松江線(尾道~三次)(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.16	30.7	5.05

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-2年目	H 25	0.9615	93.8	127.90	122.98		
-1年目	H 26	0.9246	93.8	52.99	48.99		
供用開始年次	H 27	0.8890	93.8	5.10	4.54	4.81	4.28
1年目	H 28	0.8548	93.8			4.81	4.11
2年目	H 29	0.8219	93.8			4.81	3.95
3年目	H 30	0.7903	93.8			4.81	3.80
4年目	H 31	0.7599	93.8			4.81	3.65
5年目	H 32	0.7307	93.8			4.81	3.51
6年目	H 33	0.7026	93.8			4.81	3.38
7年目	H 34	0.6756	93.8			4.81	3.25
8年目	H 35	0.6496	93.8			4.81	3.12
9年目	H 36	0.6246	93.8			4.81	3.00
10年目	H 37	0.6006	93.8			4.81	2.89
11年目	H 38	0.5775	93.8			4.81	2.78
12年目	H 39	0.5553	93.8			4.81	2.67
13年目	H 40	0.5339	93.8			4.81	2.57
14年目	H 41	0.5134	93.8			4.81	2.47
15年目	H 42	0.4936	93.8			4.81	2.37
16年目	H 43	0.4746	93.8			4.81	2.28
17年目	H 44	0.4564	93.8			4.81	2.20
18年目	H 45	0.4388	93.8			4.81	2.11
19年目	H 46	0.4220	93.8			4.81	2.03
20年目	H 47	0.4057	93.8			4.81	1.95
21年目	H 48	0.3901	93.8			4.81	1.88
22年目	H 49	0.3751	93.8			4.81	1.80
23年目	H 50	0.3607	93.8			4.81	1.73
24年目	H 51	0.3468	93.8			4.81	1.67
25年目	H 52	0.3335	93.8			4.81	1.60
26年目	H 53	0.3207	93.8			4.81	1.54
27年目	H 54	0.3083	93.8			4.81	1.48
28年目	H 55	0.2965	93.8			4.81	1.43
29年目	H 56	0.2851	93.8			4.81	1.37
30年目	H 57	0.2741	93.8			4.81	1.32
31年目	H 58	0.2636	93.8			4.81	1.27
32年目	H 59	0.2534	93.8			4.81	1.22
33年目	H 60	0.2437	93.8			4.81	1.17
34年目	H 61	0.2343	93.8			4.81	1.13
35年目	H 62	0.2253	93.8			4.81	1.08
36年目	H 63	0.2166	93.8			4.81	1.04
37年目	H 64	0.2083	93.8			4.81	1.00
38年目	H 65	0.2003	93.8			4.81	0.96
39年目	H 66	0.1926	93.8			4.81	0.93
40年目	H 67	0.1852	93.8			4.81	0.89
41年目	H 68	0.1780	93.8			4.81	0.86
42年目	H 69	0.1712	93.8			4.81	0.82
43年目	H 70	0.1646	93.8			4.81	0.79
44年目	H 71	0.1583	93.8			4.81	0.76
45年目	H 72	0.1522	93.8			4.81	0.73
46年目	H 73	0.1463	93.8			4.81	0.70
47年目	H 74	0.1407	93.8			4.81	0.68
48年目	H 75	0.1353	93.8			4.81	0.65
49年目	H 76	0.1301	93.8	-0.70	-0.09	4.81	0.63
合計				185.29	176.42	240.48	95.52

単純事業費計		185.99	240.48
--------	--	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

